

平成 20 年 6 月山田みつよ一般質問

議長 山田美津代さんの発言を許します。 11 番、山田美津代さん！

山田美津代議員

こんにちは！ 11 番、山田美津代です。

皆様初めての質問で大分緊張しておりますが、傍聴の方もおられますし、張り切って質問いたします。私は、選挙期間中、暮らし、子育て、食べ物の 3 つの安心について訴えてまいりました。そのことを中心に質問いたします。

まず 1 番目は、**軽度生活援助事業という住民に有益な情報は広報に載せるとか高齢者にもわかりやすい方法でお知らせするべきでは**ということですが、「みんなの安心介護保険 わかりやすい利用の手引」という、こういうパンフレットがあるんですね。その中で、介護保険地域医療支援事業以外の高齢者施策、軽度生活援助事業、自立生活支援ホームヘルプサービス、自立生活支援ショートステイ、寝具洗濯乾燥等サービス事業、訪問理美容サービス事業、緊急通報システム事業、家具転倒防止金具等取り付け事業、入院見舞金の支給というふうにあります。その中で今回は、軽度生活援助事業ということで、このことについて質問させていただきます。

このパンフレットは全世帯に一度配布されたと思いますが、このような町民に有益な情報は 1 回限りにしないで、広報などに載せるとか、もっとわかりやすい方法でお知らせするべきではと思います。広報で何回お知らせいただきましたか。ホームページとかにはありましたが、ホームページを検索する高齢者より広報を見る方の方が多いと思います。

済みません、1 つ言い忘れました。軽度生活援助事業の内容ですけれども、軽度な日常生活上の援助を必要とするおおむね 65 歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯を対象に生活援助員（広陵町シルバー人材センター）を派遣し、日常生活の援助を行います（この事業は介護保険法のサービス対象とならない援助行うものです）。利用者の費用は、原則 1 割負担、利用限度は 1 世帯当たり 1 月当たり 20 時間以内となっております。こういう事業内容になってました。

2 つ目に移らせていただきます。 **2 つ目は、妊婦健診の充実と広陵町で安心して産めるように産院の誘致を**ということですが、ガソリンが上がり、食品が上がり、生活がとても大変なとき、妊娠されたお母様方は健診料が 5,000 円、7,000 円、時には 1 万円ととても高く、健診を受けたくても受けられない状況があります。今、広陵町は 3 回無料ですが、国は 14 回必要と通達が出ています。

是非少子化対策の意味でもこの 14 回まで無料を実施していただきたいと思いますが、また広陵町は 15 町の中で一番人口の多い町ですが産院がなく、出産をしようと思うお母さん方は大きな不安を抱いております。悲しい事故を起こさないためにも、産院を誘致して町民の不安を解消するのが行政の責務だと思います。町長はどうお考えでしょうか。

3 つ目は、竹取公園の駐車場を無料にということですが、午前中の吉岡議員は有料化、以前は賛成だったが、選挙で町民の声を把握され、率直に態度を訂正されたのは、勇気ある行動ですばらしいことだと思います。町長は答弁で、有料化を理解されてると言われておりましたけれども、実情を把握されていないのではないかと思います。

私、先日、土曜日、図書館と公園に聞き取り調査に行ってみたのですが、図書館側は 7 台とまっていた。図書館の駐車場は図書館法で無料なので、図書館を利用して公園行かれる方などが置いたまま公園に行かれたり、利用しない人でも止めたりして、図書館利用の町民の方から抗議の声が図書館にたくさん寄せられて、対応が大変な状況と言っておられました。

また、公園側は25台止めてありました。何組かの親子連れの方にお聞きしましたら、町外の方が10組でした。郡山とか桜井、生駒、橿原、国分、三重からなども来ておられました。丘陵公園に止めて来ている組がその中で4組ありました。町内は2組でした。町内の方は歩いて来ている。来る回数は無料のときより大分減った。税金払ってるのに有料化になって怒っている。小さな子供2人を連れて荷物を持って歩いていくことは大変だから、車がないと行けない。だから今は友達と相談して、無料の時計台公園に行くようになった。久しぶりに来たら土曜日なのにこんなに人が少なくてびっくりした。前より寂れてきているのをどうにかしてなどなど、町民の方の声です。町はもっとしっかりこういう声を聞くべきです。土曜日で図書館側7台、公園側25台、図書館の駐車場はいっぱいでした。雨の日、真夏、真冬、イベント時は無料ですが、それ以外の日だけの収益を得るために町民に負担をかける意味があるのでしょうか。今は20万人と言われてましたが、年間30万人の利用が過去にあり、53億円もの税金を投入したのにこの有料化で寂れていくのを食い止めるため、町民だけでも無料化に戻し、何回も来てもらい、公園の賑わいを取り戻すことをするべきではないでしょうか。

また町長は、常に人にやさしい、人がやさしい広陵町と言っておられるそうです。そういうことを目指すのなら、障害者の方は今は半額ですが、無料にすべきではないでしょうか。

4つ目は、通学路の安全確保について。

平尾618-1の牛乳屋さんと683-1、マージャン店の間の馬見川の角が通学路なのに蓋もなく、ことし3月、自転車に乗った子供さんが落ちて近所の人に助けられたことかおり、以前から何人もの人が落ちてると村の方も言われてましたので、大変危険な場所です。

町はその事実を知っておられますか。すぐ蓋などで安全対策を講じてください。

5番目の質問です。学校給食に地元の安全野菜を。

先日、私は孫の給食試食会があり、若いママさんにこのばあばがまじって参加してきましたのですが、献立はパンとヒジキのサラダ、ナポリタンと牛乳でした。量もたっぷり、満足感もあり、もちろん栄養面も考えられて、大変満足してきました。月3,700円の給食費、年間予定回数182回、1食当たりの単価220円の枠の中で、おいしく栄養価もあり、子どもも満足する給食づくりは大変なことは主婦ならよくわかります。この物価高の中、教育委員会も大変努力されておられることは栄養士の先生のお話からもよく理解できましたし、教育長が先日、自校方式がよいとおっしゃられて大変評価はしているのですが、今年の6月、寺前先輩議員の質問に、教育長は、タマネギやジャガイモなどはしお元氣村からの入荷も視野に入れて学校食育推進委員会にも諮ってまいりたいと答弁されておられます。いつから実現するのでしょうか。

また、今、チングンサイ、コマツナ、ホウレンソウ、またナスなど取り上げられておりますが、さらに拡大する方向での取り組みはありますか。

6番目の質問です。後期高齢者医療制度の説明会の開催について。

先日、全員協議会の最後10分間で吉村部長から後期高齢者医療制度でここがよくなるという説明を受け、その後の話でも町民は、先ほども言うておられましたけれども、天引きされて便利やと喜んでおられると言われてました。山口の補欠選挙、沖縄の県会選挙と与党がいずれも負けました。原因はこの後期高齢者医療制度と言われてます。それほど日本中の高齢者は、75歳でくくられた、今まで働き詰めで働いてきて収入は年金だけが頼り。その年金は宙に浮いたままでいい加減。年金は上がらないのにこの制度の保険料だけは2年ごとにしっかり上がる。今、軽減されても先で保険料が上がればもっと困ると怒り心頭です。選挙戦の中で、必ずお年寄りの方に言われたのが、この制度、やめさせてやという切実な訴えでした。

また、この制度廃止の署名で1軒1軒回りましたが、断られたのは60軒で1軒だけ

でした。ほっぺたひっぱたいてやりたい、天引きに怒ってる、お金ないのに困る、何か天引きが便利で喜んでいるものですか、もっと直接多くの町の高齢者の声を聞いて、どういう制度内容か取り入れた自民党の議員まで制度の内容をよく知らない、わからないと言っているのですから、高齢者の方がわからないのは当然です。大字ごとに説明会を開いて怒りの声を直接聞くべきでは。その中身も、厚生労働省の資料だけを使うのではなく、奈良医師会の会長などの説明も入れたわかりやすい内容でしてください。

以上6項目です。町民の立場に立った答弁をしてください。よろしく願いいたします。

青木議長 それでは、ただいまの質問に対し、答弁願います。平岡町長！

第1回目の回答（平岡町長）

平岡町長 山田議員の質問にお答えを申し上げます。

町民の立場に立った生活者の声ということで、しっかりととらえての6項目、ご質問でございました。

まず初めの、**軽度生活援助事業**は、在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯でおおむね65歳以上の方を対象として、シルバー人材センターの会員による室内の整理、清掃や洗濯、買い物などの軽度な日常生活上の援助を安価で提供させていただいています。要介護状態の進行を防止し、要介護者等にあっては介護保険法の対象とならない部分の援助を提供することにより、心理的な孤立感や不安を和らげ、より自立した生活が営めることを目的としております。平成18年度は利用件数80件で、平成19年度は103件の利用件数であります。町が実施する介護保険のケアマネージャー会議や民生児童委員協議会定例会の場で、本町の高齢者施策を説明させていただき、地域等でのPR等に努めてもらっているところであります。

平成15年度からの制度で、従前、広報にも掲載し、町民の方々に広く周知させていただいた経緯があり、これからも引き続き機会をとらえて広報等で幅広く周知に努めてまいります。

2番の、**妊婦健診の充実と産院の誘致について**でございます。

妊婦健康診査の公費負担につきましては、厚生労働省の通知では、妊婦が受ける健康診査は14回程度が望ましいと考えられており、これをすべて行った場合、約800万円の負担となります。県内の市町村におきましては、今年度から19団体が5回の費用負担を行っておりますので、本町におきましてもまず5回を目標として財源の確保に今後努めてまいりたいと考えております。

なお、国及び県に対し、十分な財源措置の要望もしてまいります。

次に、産院の誘致についてお答えします。産婦人科医は過酷な勤務と訴訟に発展するリスクの大きさから、医師不足が深刻な問題となっております。奈良県では、県立医科大学における医師の養成や研修資金の貸し付けにより医師の確保を図っておられます。

本町におきましては、まず、奈良県に対しまして医師の確保や養成を進めていただき、医師不足で現在診療休止中の医療機関の診療を再開されることを引き続き要望してまいります。

また、本町に助産院の建築が計画されていることを伺っており、心強く思っているところであり、実現のために町も支援を惜しまないところであります。

次に、**竹取公園の駐車場を無料化に**というお声でございます。

ご質問の、竹取公園駐車場ですが、有料化を実施するについては、議員皆さんに議論をいただきながら踏み切ったものです。ご理解賜りたいと存じます。

また、公園が寂れるのではとのご心配ですが、馬見丘陵公園との相乗効果を図りながら、より多くの皆さんにご利用いただけるよう、管理運営に努めてまいります。

なお、2010年には馬見丘陵公園北エリアを主会場に、全国都市緑化フェアが開催される予定です。本町も竹取公園を含めた多くの歴史、文化、産業、風土、そして人にやさしい緑を大切にする町の絶好のPRに努めてまいります。議員皆さんと心を合せて取り組んでまいりたいと思っておりますので、

よろしく願いしておきます。

次、4番目でございます。**通学路の安全確保**についてでございます。

ご質問の馬見川の通学路の安全対応ですが、平尾区、町、そして県の三者で現地確認をしましたが、柵をすれば車両の通行に支障があるとのことで、地元区の丁解か得られませんでした。再度平尾区と協議を行い、安全対策を講じていきたいと思っております。

次、5番目、学校給食に地元の安全野菜をとということでございますが、これは教育長がお答えをさせていただきます。

6番、**後期高齢者医療制度の説明会を開催せよ**というご質問でございます。

長寿医療制度が始まることにつきましては、既に広報や折り込みチラシ等で十分周知や説明をさせていただいてきたところであります。今までのお問い合わせの内容から、長寿医療制度の対象となる方が求めておられるのは、制度の仕組みよりも病院にかかったときの負担額がどうなるのか、保険料は幾らになるのか、今までの国民健康保険税と比較してどうなのか、なぜ制度改正により自分にとって何かどう変わるのかという具体的なことを求められておられると感じております。

つきましては、種々のお問い合わせをいただいた際には、今まで同様、その方の被保険者情報を確認しながら具体的な数字を示し、詳しく丁寧に説明させていただくことが、きめ細かな対応となるのではないかと考えております。

以上のとおりでございます。

第1回目の回答（安田教育長）

青木議長 安田教育長！

安田教育長 山田美津代議員の質問事項5、学校給食に地元の安全野菜をとというご質問についてお答えいたします。

現在、学校給食の食材につきまして、地元野菜の導入はご承知いただいておりますように、丸広出荷組合からチングンサイ、コマツナ、ホウレンソウ、ナスの4種類だけを購入しております。学校給食は必ず加熱して子供に提供するため、取り扱う品目も限られてまいります。新鮮な野菜という観点から、一般には生で食する方がおいしいトマトやキャベツ、キュウリなども、加熱するとせっかくの鮮度が薄れてしまいますし、また、給食に使う食材は購入数量も多く、なるべく長期に作付できる野菜を望んでおりますので、これらに見合う野菜があれば拡大も検討したいと考えております。以上です。

山田みつよ2回目の質問

青木議長 それでは、山田美津代さんの2回目の質問を受けます。

山田美津代議員 軽度生活援助事業の普及についてのご答弁いただきましたけれども、老人クラブや有志の会とか民生委員会、また月1回行われてる区長会、自治会長会とか、またさわやかホールで月1回の各大字の老人会とかでお知らせするとか、考えれば方法は幾らでもあると思います。ある65歳のご主人と2人で生活しておられる町民の方が、お体の調子が悪く、家事の援助をしてほしいとシルバーの方に電話したところ、この制度を教えてくれた。 手続しようと健康福祉課の方に資料をもらいに行ったところなかなか出してくれず、説明も積極的ではなく、疑問に思うほどだったと言っておられる。なぜこんな町民にとってよい制度なのに、広く知らせることをしていないのでしょうか。 103件あると言っておられましたけれども、もっともっと知らせる方法をしていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

青木議長 池田健康福祉部長！

池田健康福祉部長 この制度は、ご存じのように町単独の事業として今、実施しておるわけで

ございます。町長が申しましたように、広報等にも周知をして、もう、平成15年ですから5年ほど経過するわけで、私ども十分周知はできておったかなというふうな思いをしておったわけですが、今、議員さんからそういう質問がございましたので、さらに老人クラブとか、また今ご提案いただきました方法で周知を図ってまいりたいと、このように考えております。十分に個々に説明をする方が一番いいのかなと思うんですけども、ただ、周知の方法も広報等でも十分にご理解できるかなというふうな問題もございます。地域でいろいろとそういうふうなことで申し出がございましたら、町も出向いてご説明をさせていただきたいと思っておりますので、その点もよろしく願いいたします。

青木議長 山田さん！

山田美津代議員 高齢者の方を取り巻く環境はとても厳しい。今、予算もわずかしかかかってないと思いますから、町が責任を持って町民に積極的に説明すべきではと思います。また、介護保険による利用制限も強められて困っている方もいらっしゃいますので、この制度を利用することで、掃除してもらったり、買い物に行ってもらったり、かなりカバーでき、とてもよい制度です。町が徹底的に知らせる努力をするべきではと思います。シルバーの子育て支援事業をこれから広報などでお知らせすると聞きましたが、この事業も何度も何度も載せて広く普及してもらいたいと思います。また、一度この制度をお使いになった方は、高齢者にとってよい制度だから、何度でも利用されると聞いております。区長・自治会長会、老人クラブや有志の方の集まりなどで、出前っていうんですか、出張っていうんですか、そういう今ご答弁いただいたやり方で必ずお知らせいただけますね。再度ご答弁をお願いします。

青木議長 池田健康福祉部長！

池田健康福祉部長 申し出がございましたら、地域にまいりまして十分なお説明をさせていただきます。制度を大いに理解していただいて、利用していただくのが我々の本意でございますので、議員におかれましても周知の方、よろしく願いをいたします。

青木議長 11番、山田さん！次に移ってください。

山田美津代議員 わかりました。

妊婦健診の充実と産院の誘致をという2つ目の質問に移ります。

平成20年4月現在の公費負担の状況ですが、先ほど町長も述べられましたけれども、多いところでは滋賀県が10.7回、福島県で10.8回、奈良県では3.8回、平均5.5回。市町村では奈良市5回、大和郡山市5回、斑鳩町5回、曾爾村5回、明日香村5回、吉野5回、大淀5回と、5回実施が19市町村、平均3.79回ですから、5回実施していただけるっていうのは、ある程度平均にはなると思うんですけども、この広陵町は就学前までの医療費無料化、特に歯科まで無料という、他市町村にない町民のためになる施策が実施されていて、福祉の面で評価が高いのが誇りです。ぜひ14回無料化を他市町村に先駆けて実施するために計画を立てて取り組んでほしいと思います。

また、2007年8月の「NHK関西クローズアップ 奈良県お産の危機について」という放送の中で、町長も医師不足というお話されておりましたけれども、奈良県南部のお産空白地、県の面積の6割に産科医が一人もいない。年間推定400人以上の女性が自分の町で子供が産めない。奈良県立医大では5年でお産が40%増、一方医師は半数に減少等々。しかしこの事態に対して、奈良県医療審議会産婦人科医療部会では、出産を安全にするためと医師の負担を軽くするために、産科の集約化を行うということです。集約化というのは2つか3つの病院から産科医を引き揚げ、1つの病院に集めるということです。そして生駒、奈良、天理、県立奈良医大に4つの拠点病院をつくるということです。少なくともあと15人の医師が必要。そのために県内の医師だけではならず、県外からの医師を確保しようとしているとのこと。しかし、奈良県の産科医の報酬は少なく、全国的に見てかなり安く、まだ2名しか確保できていないとのこと。このことは中南部にお産する

場所について全く考えていないことが問題となっております。

高田の市立病院はいっぱい、里帰り出席は受け入れてもらえません。香芝の林産婦人科も患者さんいっぱい増設されました。広陵町の妊婦さんは一体どこで産んだらいいのでしょうか。この大きな不安の解消のために助産師さんのそういう計画は支援されると言っておられましたけども、町としても産院の誘致をこの広陵町で取り組んでいただきたいと思います。ご答弁をお願いします。

青木議長 池田健康福祉部長！

池田健康福祉部長 今のご質問にお答えをさせていただきます。

現実、今5回というのが厚生労働省の方から財源措置も考えてるということでお示しをしています。14回というのは国が望んでいるというふうな状況でございます。すべて財源措置はできておらないというのが現状でございます。厳しい財政状況の中で、本町が独自の拡大、要するに5回以上ということについては、非常に困難なことだと思います。どこでも安心して妊娠出産ができるためにも、自治体の格差のない全国統一した公費負担で、回数、財源措置をやはり国の方に要望してまいりたいと、このように思っておるわけでございますので、議員におかれましても、議員の政党からも強く政府の方に要望していただきたいと思います、このように思っておるところでございます。イ可せ業務は増えておるんですけども、財源が伴わないというのが今の地方の実態ということで、ご理解を願いたいと思います。助産院の誘致の件でございますが、町長も申しましたように、医師不足というのが非常に全国的になっておるわけでございます。私も2006年の医師のデータを調べました。そうすると、ドクターの数は26万3,540人おられるわけです。そのうち産科の医師は全国で9,919人、奈良県におかれましては1%程度で93人というふうな現状でございます。

全国の下位レベルというふうなことでございます。県におきましても、医師の確保のためにいろいろな施策を進めていっておられるわけでございますので、まずは医師確保をお願いしたいと県の方に要望してまいりたいと、このように思っております。そういうところで進めていきたいと、このように思います。

また、助産院につきましては、町長が答弁したように、支援をさせていただくということでご理解を願いたいと思います。

青木議長 11番、山田さん！ 3回目の質問ですよ。

山田美津代議員 財政が伴うということですけども、今時点で予算600万ですが、6回にすると1,200万ですね。15回で3,000万で実現いたします。大幅にふやすべきだと思います。広陵町人口増えてまして、若い世帯が増える町にすると、広陵町の町が活性化すると思います。聞くとところによりますと、香芝・広陵の開発が進んでいたとき、学童保育の取り組みが香芝が一步先んじて、若い人が広陵より香芝に移り住んだときがありました。町の活性化のため、少子化対策のため、若いお母さん方のために大幅に予算増やしていただきたいと思います。

産院の方は医師が確保できたら進めていきたいということですので、確保できたら是非産院誘致をよろしく願います。

青木議長 答弁よろしいですか、答弁どうです。

山田美津代議員 その予算を増やしていただくってということでどうでしょうか。

青木議長 池田健康福祉部長！

池田健康福祉部長 現在、20年度におきましては本町は3回、非課税者の方については5回というふうな施行をしております。これにつきましてもやはり5回というふうなことに、まずは目標を持って、それに財源を確保して努めたいということでございますので、その点ご理解願いたいと思います。

ただ、医師確保はしたから産院の誘致ということでは私は答弁しておりませんので、その点だけはご理解願いたいと思います。

青木議長 11番、山田さん！次の質問に移ってください。

山田美津代議員 次の質問させていただきます。

竹取公園の駐車場のことなんですけど、五位堂の駅前の駐輪場は香芝市民は広陵町民より安い。税負担をしている町民を無料にするのは当然だと思います。せっかく近隣もうらやむ公園を持ちながら、町民の声を聞かず有料化を続けるのはおかしい政策だと思います。300万の収入のために、町民だけだともっと少ないですけども、この300万の収入のために町税を払っている町民まで有料にするのは、町民の犠牲が大き過ぎます。また、町外の多数の人は、緑が多く、遊具が豊富で魅力と言っておられました。町外の人にもっと利用してもらおう手だて、例えば公園内にある販売施設の活用はされておられますか。

売り上げは無料時の半分に減ったとお店の方は言うておられました。この半減した原因をどう考えておられますか。公園の利用者が減ったからとしか思えません。また、朝市のジルバーの方も、車をとめるところがなく、お客さんが少なくなり困っておられます。

こういう施設をたくさん来ている町外の人にもっと利用してもらい、広陵町にお金を落とすしてもらおうことを真剣に取り組まないと、多額の税金を使った意味がないのではと思います。町のお考えをお聞きしたいと思います。町長がご答弁なさいました、全国都市緑化フェアが開催される予定というふうに言われておりましたけど、そういうときのPRだけでなく、平素も無料化にして、寂れない公園にしてほしいと思うんですが、その辺で答弁をお願いいたします。

青木議長 森田都市整備部長！

森田都市整備部長 竹取公園の駐車場の有料化につきましては、受益者負担の見直しという行財政改革の答申を受けまして、当初は有料化をさせていただきました。その後、運営につきまして種々見直しもさせていただきました。障害者等については一応半額にもさせていただきました。また、平日につきましては、図書館の南側の駐車場については無料開放等、改善を図らせていただいております。ただ、この有料化を見直すということにつきましては、現在方針を変える予定はいたしておりません。ただ、町内の方の料金をどうするかについては今後の検討課題ということで、よろしくご理解いただきたいと思います。

青木議長 山田さん。11番！

山田美津代議員 大勢で賑わうから公園として価値がおるのではないかと思います。町外の車が大勢来るのではというのなら、免許証を見せたら町民とわかるのですから、町民の方だけでも無料にできるのではないですか。こういう工夫で、町民だけでも無料化を実施すべきです。将来的に寂れる公園にしないために、より活性化するような構想をきちんと持つべきではないでしょうか。ご答弁をお願いいたします。

青木議長 森田都市整備部長！

森田都市整備部長 免許証とおっしゃいますけども、免許証も住所切りかえをされなければ住所が変わりませんので、それだけで確認することは必ずしも間違いのないということにもなりませんので、そこらの問題もありますので、今後の検討課題とさせていただきます。

青木議長 11番、山田さん！次の質問に移ってください。

”

山田美津代議員 通学路の安全確保に移ります。

平尾の区の、協議を行い、安全対策を講じていきたいと思っておりますという答弁でございましたけれども、この危険なところで、近辺の方からも強い要望が出ているんですね。平尾の方の言われるのには、柵とかガードレールをつけられると、車が道に入りにくくなり、子供さんが通りかかったときなど挟んだら大事故になるし、困るけれども、蓋ならそういうこともないし、いいのではというご意見でした。町は大字から要望が上がってからと言っておられますが、大字に責任を押しつけるつもりですか。

青木議長 森田都市整備部長！

森田都市整備部長 私どもは別に大字に責任を押しつけるつもりは毛頭ございません。大字の理解がないのにすれば、当然また大字から苦情も出てまいりますので、大字の理解が得られるまで、当分の間はゾーンセパレーターというものを、安全の標識としてその川に沿って一応立てる計画をいたしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

青木議長 11番、山田さん！

山田美津代議員 都市整備課には何回も要望に行きましたし、高田土木にも今井県議と行き、現地も見てもらいましたら、通学路が町道なので、町がする工事と言っています。溝掃除に支障がないことも区長さんが言っておられましたし、一日も早く工事をするべきでは。こうしている間も、いつ事故が起きるかもわかりません。事故が起きたときの責任はどうするんですか。

青木議長 森田都市整備部長！

森田都市整備部長 区長さんの方は問題ないというお話のようですが、町が平尾区と協議させていただいた中では、平尾区としては、それよりもほかに要望箇所があるので、その以降にしてほしいという返事でしたけれども、町としても、やはり命にかかわる問題ですので、大字の方から要望をいただくように、今、区と協議はさせていただいております。そこまでの当分の間の応急的な対策としまして、先ほど申し上げましたゾーンセパレーターというものを設置したいという考えでおりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

山田美津代議員 ちょっと聞き取りにくかった。何を設置ですか。

森田都市整備部長 ゾーンセパレーター。

山田美津代議員 どんなもんですか、ゾーンセパレーター。

青木議長 どうぞ、ちょっと言うたってください。

森田都市整備部長 ゾーンセパレーターといいますのは、ちょうど道路際から30センチほどのポールといいますか、当たったら倒れるようになっている可動式のもので、特にあそこは車の出入りが、今の状態で柵なりフェンスをすると車が入りに支障を来すということですので、それをしようと思えば、川に、結局今の道路から何ほか張り出したうえでそういうガードレールをしなければ車の支障かおるということは、そちらの方も聞いていただいていると思ひますけれども、そうしようと思えば、泥上げ場がありますので、その泥上げに支障があるというのが大字の言い分ですので、それをどうするかは大字と協議をさせていただいております。ですので、その理解がなければ、町としても無理に工事をするのは、また大字とのトラブルのもとにもなりますので、今その協議をさせていただいております。そこまでの間の一応安全策としまして、ゾーンセパレーターというものを設置させていただきます。そして、大字の理解が得られましたら、たとえ少しでも川へ張り

出ささせていただいて、そこに安全のがードレールなり、柵をさせていただきたいと、そういうふう
に思っておりますので、
よろしくお願ひしたいと思ひます。

青木議長 11番、山田さん！次へ移ってください。

山田美津代議員 はい、わかりました。そしたら、なるだけ一日も早くよろしくお願ひいたし
ます。

学校給食のことですけど、栄養士さんは大根も取り入れてほしいと言われていましたので、丸広
にも話を聞きに行っていました。丸広は、町が2週間前に注文するのでは何も取り組めない、
最低1年間の計画を立てて、大根なら、この時期に種をどれくらいまいたらその計画の量の大根が
収穫できるかわかる、そういう計画を地域振興課の方と綿密に打ち合わせして立てるのが一番よい
と言われていました。そういう方向でしっかりと計画を立てたら 大根だけでなく、キャベツや白
菜、また豆などもシルバーの方に休耕田を利用してつくっていただけるとも言われています。計画
をしっかり立てて、地域振興課と生産者とも打ち合わせて、給食に地元食材の拡大の方向で実行を
お願ひしたいと思ひますが。

青木議長 北神教育委員会事務局長！

北神教育委員会事務局長 計画的に注文するということは出荷者の方にとっては当然なこと
なんですけども、こちらの方からいけば、突然やめられる品目も出てきたと。そうなれば、またそ
の計画が狂ってしまうということもございませう。とにかくそうした安定した供給というものと、価
格面でどうかということとを十分に検討する必要かおるかと思ひます。今、給食の物資が高騰して
おりますので、現在の3,700円の給食費を守っていくためには、やはりそうした価格面の工夫とい
うものが大切になってきておりますので、その辺を十分に検討しながら、品目、また、そうした元気
村等からの導入を進めたいというふうにお願ひしております。

地域振興課とも十分協議してまいりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

青木議長 11番、山田さん！

山田美津代議員 食育教育は大事なことで、正しい食習慣を身につけることは、子供の健全な
心身の成長に欠かせない要素です。小さいころから本物の味というか、取れたての旬の味、覚えたら
一生忘れませう。小さいころが本当に大事なのです。また、学校給食を生きた教材として活用す
ることも必要なのではないのでしょうか。年間180日あるのですから、給食に使われている食材を
うまく活用して、身近な教材として、例えばその日の給食に使われた野菜を当てるクイズを行い、
その後、生産地の見学とかへ行って、実物に触れて関心を高める、生産者とも交流を深めるなど、
地元の野菜の大切さ、つくっている人の顔を見れることなどは、地元の食材を使うからできる大切
な一つだと思ひます。計画的に取り組んでいただきたいと思ひます。いつ、何を使い、量や発注の
仕方など、できましたらお答えいただけますでしょうか。

青木議長 北神教育委員会事務局長！

北神教育委員会事務局長 食育教育にとりまして、地場産品を使うということは非常に大切
であるという認識はいたしております。今後何をいつ使うかということは、これからの課題として
検討してまいりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

青木議長 11番、山田さん！

山田美津代議員 しっかりと検討して取り組んでいただきたいと思ひます。

次の質問に移ります。

後期高齢者医療制度の説明会の2つ目の質問です。

この間の13日の金曜日、2回目の天引きが行われ、また、高齢者の方が通帳を見てため息ついておられる姿が目につかびます。何の説明もなく、訳もわからず、通帳から介護保険料とともに約2万円引かれていく。どこへこの嘆き、怒りを持っていけばいいのか。ただ毎日の食費を切り詰めてといっても、何もかも値上がりしている今、これ以上何を切り詰めたらいいのだろうと途方に暮れているお年寄りの姿、想像したことはありませんか。一度説明会を開いて、直接高齢者や若い方などからもご意見を聞いてみたらいかがでしょうか。町民に説明会などを開いたことがありますか。

青木議長 吉村住民生活部長！

吉村住民生活部長 説明会を開いたことはございません。ただ、先はども答弁の中で答えさせていただいておりますように、窓口へおいでになる方は、自分のケース、自分の税金はどうなるんやといったことをほとんどの方がお尋ねでございます。確かに議員おっしゃるように、テレビを見ればいろんな問題点、いろんな議論がされております。話題には確かになっております。しかし、我々従事しております者からしますと、この制度がやはりこの国の医療を支えていくというように思うわけです。だから、今現在いろんなプロジェクトチームの中でいろんな議論がされております。まだ具体的なことは明確にはなっておらない部分はあるんですけれども、やはりこの長寿社会を堅持していくための制度ですので、もし説明会を開いてくれという団体等がありましたら私出てまいりますけれども、今までそういうところは、結構だということはありませんけれども、今まで要請を受けたことはございません。

青木議長 11番、山田さん！

△

山田美津代議員 5月28日の毎日新聞に、奈良県医師会長の塩見俊次さんの記事が載っていました。この制度は、今のまま続けるのは反対です。74歳でも75歳でも、病気が同じなら同じ治療が必要、年齢で差をつけてはなりません。それに、懸命に働いてきた高齢者に、急な制度の変更で、永遠に保険料を負担せよというのはどうでしょう。話をする機会があればどこへでも行くつもりですとおっしゃっています。

この医師会会長さんのお話を軸にして説明会を開いて、高齢者の不安、怒りを町として受けとめて、町長は広域連合の会議で、そのときの高齢者のご意見をしっかりと言い、やめさせる努力をすることが大切です。はっきりと高齢者の方の意見を言っていただけますか。こういう奈良県医師会会長さんもおられますので、説明会、もし団体があれば開いてくださるということですので、是非そういう方向で開いていきたいと思っております。また、町長はそういうときに高齢者の方のご意見をしっかりと行って、広域連合の方に伝えていただきたいと思っております。その辺でちょっとお話を聞かせていただきたいと思っておりますけど、町長、お願いします。

青木議長 平岡町長！

平岡町長 後期高齢者医療制度については、いろいろ問題点が新聞、テレビで報道されております。我々は国の決まりを着実にご説明を申し上げ、遂行することが基本でございます。ただ、私自身も高齢者から、困っている人から保険料を納めさせるという制度についてはだめでございます、容認しておりません。県の広域連合の議会議員でもございますし、議長ともよく相談を申し上げて、厳しい意見を取り上げている一人でございます。奈良県の市町村で私だけです、反対しているのは、これもはっきりしております。他の町ではすべて今回の条例提案も何の異論もなく出しておるわけですが、私ども、県の担当者とけんかをしておりまして、我が町だけほっておいてやってくださいと、私はそう申したんですが、それはやっぱりできないと。県の福祉担当部長まで私に説得に来られているような状況でございます、やっぱり我が町だけで反対して、奈良県に迷惑をかけ

てはいかんということで、最後は折れました。

しかし、国の方では今大きな改革をされているようでございまして、ただこのまま実行されないのが実態でございますので、状況をしっかり見守っていきたいと思います。異論もあるのは確かでございます、首長ばかり寄りますと、みんなそのように申しておるのが実態でございます、しかし、いざというときには、みんなやはり事務執行者ということでもありますので、住民の説得にということで力を入れているようでございますが、根強く改善に対して取り組んでまいりたいと思います。

青木議長 では、以上で11番、山田美津代さんの一般質問は終了いたしました。

しばらく休憩します。再開は3時20分から行いますので、よろしく願いいたします。

3時20分。

(P.M. 3:07 休憩)

(P.M. 3:21 再開)